

平成20年度事務事業評価表 担当 企画部 情報ネットワークセンター 内線等 66-1717

事務事業名	科学館展示事業		
総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)			
基本目標	6. 市民とともに歩むまちづくり	施策名	地域情報化
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった		
市長マニフェスト	真の自立できる蒲郡を目指す事業		
市長マニフェストの執行状況	4点 実施中であり、ほぼ達成できる見込み		

事務事業の内容

対象(受益者)	市民をはじめ広く一般に対し
手 段	化石等の標本を手に触れる状態で展示し、その解説をコンピュータを利用し行うことで
成果、目標	豊富な情報と最新の状態で地球の歴史・生命の初期進化に関する生涯学習の場を提供し、地球環境を守ることの大切さを実感していただく。

成果指標

成果指標名	科学館入場者数の対前年比	市民利用証入場者の割合	
成果指標の説明	(当年度入場者数 / 前年度入場者数) × 100	(市民利用証入場者数 / 総入場者数) × 100	
指標の推移	平成19年度決算(実績)	平成20年度決算(実績)	平成21年度予算(計画)
成果指標	93.8%	105.7%	99.2%
成果指標	21.4%	19.3%	19.6%

事業の概要

項 目	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度計画
科学館入場者数	20,172人	21,323人	21,150人
内訳	市民利用証	4,119人	4,150人
	観覧券等	15,863人	17,000人
入場料	大人 700円(団体 500円)、小人 300円(団体 200円)(団体は30名以上) 蒲郡市民は、実費100円の市民利用証作成により無料		

事業にかかる人工

(単位：人)

人工計	0.61人	次長 課長級	0.20人	補佐級	0.00人	係長級	0.00人	一般職	0.26人	非常勤	0.15人	再任用	0.00人
-----	-------	-----------	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

人件費を含む事業費	事業費	33,919 (マリinstaff報酬9,150を含む)
	人件費	3,812
	合計	37,731
財源内訳	特定財源	6,895
	一般財源	30,836

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	生命の海科学館については、平成20年度に市内各分野及び公募市民代表による見直し検討委員会を設置し、廃止を視野に入れた中で科学館のあり方について検討していただいた。その結果、存続して見直しを行う旨の結論が出され、平成21年度新たに設置された実施計画策定委員会から検討委員会報告の内容を具体化するための方策が市長に提案されたところである。今後は、この計画の早期完全実施に向け努力していく。
-------------	----	--

総合評価

総合評価	C 事業の計画、内容及び規模等の改善、縮小の検討が必要である
------	--------------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機器、コンテンツの老朽化への対処 ・ 保守委託料やマリinstaffの報酬の抑制など、経費の削減 ・ 見直し検討委員会による事業そのもののあり方の検討
現在の課題、問題点	「存続して見直し」という見直し検討委員会の報告に基づいて作成された実施計画を早期実現し、科学館の活性化を図る必要がある。現在の科学館の展示は、情報化施設のための展示であり、見直し検討委員会で示された科学館としての本来の機能を発揮するための展示となっていない。
今後の改善計画	<p>情報のショールームといった情報化推進の手段という位置づけから、科学館としての役割を前面にした事業展開(展示事業としては計画、内容の改善及び活用されていない施設内空間への再配置による規模の拡大)を行う。教育普及事業など、実施している他の事業との整合を図りながら科学館としての機能を活かせる展示の再配置、内容の見直しを行う。</p> <p>(注)総合評価「C」は、「改善」を意味するものであり、科学館事業については、活性化による事業拡大を目指す。</p>